

Ⅰ 実践の概要

テーマ	身近な災害から自分の命を守る
外部指導者	自衛隊秋田地方協力本部 大仙地域連絡事務所長 松塚 賢二 氏
実施日時	令和6年8月27日（火） 午後1時20分から 3時20分まで
実施場所	秋田県立六郷高等学校
参加者	生徒141名 教職員36名

2 実践内容

講演や演習等の様子	1 防災講話 2 体験学習①ロープワーク 3 体験学習②救急法 4 体験学習③装備品見学 ※1～3年生が、体験学習①②③をローテーションで実施  
-----------	--

3 参加者の感想

生徒	・災害時には、まずは「自助」、そして「共助」が大切であるというのが一番印象に残った。自衛隊等の公助は最後になると知り、万に備えてできる準備をしておきたいと思った。 ・東日本大震災時、救助活動に当たった自衛隊員のレポートを聴いて、想像以上に現地が過酷だったと感じた。そして助けられなかった命への気持ちを聴いて、とても気の毒に感じた。
職員	・直近の災害事情を踏まえ、分かりやすく防災（減災）につながる講話をいただくことができた。また、被災者のリアルな声もご紹介いただき、災害の怖さや自助や共助の大切さについても学ぶことができた。講話を、ポイントを押さえた最小限のものにしていただき、体験学習内容を充実させていただいたのがありがたかった。